


○ 「古塩原湖の年縞」の概要

1 概要

- ・令和3年7月に栃木県那須塩原市で年縞博物館学芸員および立命館大学中川毅教授、北場育子准教授等が堆積物(年縞)を剥ぎ取り
- ・博物館に展示するために、考古学造形研究所 代表 森山 哲和 氏による加工、整形保存処理を施し、標本を作製
- ・古塩原湖の年縞は植物の葉化石を多産することで古くから知られ、「塩原湖成層」と呼ばれる
- ・白(主に珪藻の死骸)と茶色の層(雨で運ばれた泥)が交互に重り、1年ごとの明暗の層が観察できる

展示箇所	エレベーター南側壁面
資料サイズ	W1690mm×H1790mm
採取場所	栃木県那須塩原市上塩原 (36度58分57秒、139度47分33秒)
年代	約30万年前
資料写真	
その他	展示コーナーを新設

